

授業実践記録シート

平成30年1月31日	授業者 富山 真理子	
小学6年	教科 道徳	単元名 ロレンゾの友だち
話し合い活動の意図と手立て	<p>&lt;話し合い活動の意図&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友情について様々な視点から話し合い、考え方を共有するため。</li> <li>・3人の行為の基になる気持ちに気付かせ、真の友情とは何かについて思考を深めさせるため。</li> </ul> <p>※これらの活動を通して、自分の考えをより深めさせたい。</p> <p>&lt;手立て&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ワークシートに自分の立場と理由を書かせる。</li> <li>② 4人グループになり、ホワイトボードに△を書き、ネームプレートを貼りながら、自分の立場と理由を述べるように指示する。</li> </ol> <p>※一度にネームプレートを貼って順番に発表…×</p> <p>発表会で終わってしまい、話し合いが続かない。話しやすい人から自由に話す。意見が似ていたら、共感しながら貼ったり、逆の立場なら反論しながら貼ったりと自分の意見を話すことを意識させた。</p> <p>&lt;話し合いの形態&gt;…全体（課題把握）→個人（思考）→自由（話し合い）→全体（話し合い）→発表</p>	
	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を使うことで、児童は自分の立場を明確にしやすく、話やすそうだった。また、ネームプレートを使うことで自分の考えが変わったら、移動できるので視覚的にも効果的であった。</li> <li>・当初は、ロレンゾの友達3人の思考を一直線で表す計画でいたが、三角形に変えることで、自分の立場がはっきりせず、2人の考えの間の立場の児童にとっては、よかった。また、真ん中を空けることで、3人の行為の基になる共通した気持ちを書くことができ、視覚的にも分かりやすかった。</li> <li>・本当の友達とは何か考えさせる時、児童の言葉でまとめることができた。</li> <li>・他教科と同じように話し合い活動を進めることができ、児童は自主的に話し合いができた。</li> </ul>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人思考の時間だけでは、3人の立場を選んだ理由まで机間指導が十分にできず、立場しか確認できなかった。</li> <li>・児童の意見を全てまとめられず、板書できなかった。また、大切な発言を聞き逃してしまった。</li> </ul> <p>→板書を減らし、児童同士の会話のやりとりを増やしたかったため。</p>	

(写真・資料など)

